

## 整備事業評価書

(都道府県名:大分県)

政策目的	事業実施地区数ア	評価対象外地区数イ	評価対象地区数アーイ	成果目標の平均達成率	評価対象地区数のうち、都道府県が事業実施主体へ改善指導を必要とした地区数	地方農政局等から都道府県計画の改善指導の必要の有無	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
産地競争力の強化	3	0	3	55.2%	2	有	<p>本県において、本年度の事業評価の対象となったのは3地区であり、2つの成果目標を達成した地区は1地区、1つだけ達成した地区は1地区、両方とも未達成であった地区は1地区であった。成果目標が未達成となった地区の主な要因は次のとおり。</p> <p>①施設完了の遅れ、新型コロナウイルス感染症の影響により契約率が伸び悩んだことにより、契約取引の割合を増加させることができなかった。</p> <p>②新型コロナウイルス感染症の影響による需要の変化により品目によっては実需の取扱量が減少し、契約単価も下がった。また、一部品目の収穫機を目標年度に導入できなかったことから、単位面積当たりの販売額、取引数量を増加させることができなかった。</p> <p>なお、成果目標が未達成の事業実施主体については、今後、改善計画の策定及びその実践を指導するなど、地元市町村と連携して目標達成に向けた取組を推進する。</p>	<p>県の成果目標平均達成率は、国が達成と判断する90%に対し、55.2%であり、目標は達成されていない。このため、農政局から県に対し、成果目標の達成に向け、要因の分析及び改善措置の提出を求めるとともに、未達成地区に対しては、県担当者による指導を行うなど、県による主体的な取組を指導する。</p> <p>なお、大分県が改善指導を必要とした地区(達成率90%未満)については、以下の2地区である。</p> <p>&lt;参考:成果目標未達成地区の概要&gt;</p> <p>【野菜】1地区 ・「単位面積当たりの販売額の増加」及び「基本契約を締結している生産者と中間事業者の間の取引数量の増加」を目標に、国産原材料サプライチェーン構築の取組として、野菜(さといも、じゃがいも、さつまいも、にんじん、インゲン、スイートコーン、エダマメ)の集出荷貯蔵施設を整備した1地区について、令和3年度も引き続き新型コロナウイルスの影響があり、取引先の需要の変化や契約農家の高齢化等により、品目によっては取扱い数量が著しく減少したため、品目構成を大きく変更することとなった。また、市場単価が低迷するなかで、契約単価も下がっており、いずれの目標も達成できなかった。</p> <p>【花き】1地区 ・「秀品率の増加」及び「全出荷量に占める契約取引の割合増加」を目標に、花き(キク類)の高度環境制御施設、出荷貯蔵施設を整備した1地区について、「秀品率の増加」目標は達成したものの、事業完了が遅れたことにより、周年栽培が行えず、施設の回転率が低下し、加えて新型コロナウイルス感染症の影響により、葬儀需要の大きいキクの販売に苦慮したことから、「全出荷量に占める契約取引の割合増加」目標は未達成となった。</p>

(注)1.「成果目標の平均達成率」欄は、要綱別紙様式5に記載された率について確認の上、転記する。

2.「都道府県による総合所見」欄は要綱別紙様式5に記載された内容を確認の上、転記する。